

国立新美術館、時代を映す、挑戦的でダイナミックな展示をつづけるために
1,000万円を目標に初のクラウドファンディングを実施
-限定グッズや体験プログラムなどここでしか手に入らない返礼品が充実-

国立新美術館（以下、当館）は、2025年3月19日に開幕となる展覧会「リビング・モダニティ 住まいの実験 1920s-1970s」の開催費用の一部を募ることを目的に、クラウドファンディングサービス「READYFOR」にて、1,000万円を目標として、本日2024年11月18日（月）から2025年1月31日（金）まで支援を募ります。

（プロジェクト URL : https://readyfor.jp/projects/nact_2024）



当館は、国内最大級の展示スペース（14,000㎡）を生かした多彩な展覧会の開催や、美術に関する情報や資料の収集・公開・提供、さまざまな教育普及プログラムの実施に取り組むことで、年間200万人を超える来館者が美術に触れる機会を提供しています。開館からまもなく18年となります。特に最大8mの天井高と約2,000㎡の広さをもつ企画展示室、その中を自在に仕切ることのできる可動式の壁は当館の大きな特徴で、この空間を活かし、ジャンルにとらわれず、その時代の視点を反映させた「国立新美術館ならではの」展覧会を開催しています。新しい表現を試みた作品や若手のアーティストを紹介する企画、テーマ性をもって多彩な作品で構成する総覧的な企画など、収益性だけにとらわれず、「本当に届ける意義がある展覧会」を信念をもって企画しています。

このような企画展の多くは、基本の予算に加え展覧会ごとに資金を獲得して実現しています。美術との出会いや新しい体験を楽しんでいただける展示を実現するために、予算確保に加え、コストを抑えながらも妥協することなく関係者一丸となって取り組んでいます。しかし、それでも資金の調達が難航する展覧会があり、さらに、昨今の海外輸送費や資材・物価の高騰なども追い打ちとなり、当館として届けたい展示を形にするためには絶対的に資金が足りないケースも増えています。

そこで今回、2025年3月19日（水）より開催する展覧会「リビング・モダニティ 住まいの実験 1920s-1970s」の開催費用の一部を集めるため、新たな資金調達手段としてクラウドファンディングを実施することを決めました。本展は当館としても非常に大規模な展覧会です。特にルートヴィヒ・ミース・ファン・デル・ローエ（1886-1969年）の未完のプロジェクト「ロー・ハウス」を原寸大で実現する展示は当館だからこそ企画できる大きな見どころのひとつであり、多くの方にお楽しみいただけるよう、無料で観覧いただけるエリアに設置することとしました。本プロジェクトでご支援いただいた資金は、こちらの展示制作の費用に充てる予定です。

また、これまで当館は、個人向けのメンバーシップ制度を持たず、来館者とのつながりを持つ機会も限られていました。今回のプロジェクトは、資金面だけでなく、当館の活動を応援して下さるさまざまな方と繋がり、ファンを増やしていくことも大きな目的のひとつです。

コロナ禍以降、さらに展覧会や作品の鑑賞環境改善について考えることや、多種多様な表現とその発表の場が求められる昨今において、入場者数を増やすこと、また観覧料のみに収入を頼ることが難しいのは、日本中の博物館、美術館が直面する課題です。これからの美術館経営のあり方を考えていく中で、ひとつの収入の柱として国立新美術館を応援して下さる皆さまからのご寄付の可能性を模索したい、そのために今回のプロジェクトは大きな契機になる、という思いを持っています。

■クラウドファンディングプロジェクト概要

- ・タイトル「国立新美術館 | 時代を映す、挑戦的でダイナミックな展示をこれからも」
 - ・URL : https://readyfor.jp/projects/nact_2024
 - ・目標金額 : 1,000 万円
 - ・募集期間 : 2024 年 11 月 18 日 (月) から 1 月 31 日 (金) 23 時 75 日間
 - ・資金使途 : 2025 年春開催の展覧会「リビング・モダニティ 住まいの実験 1920s-1970s」の開催費用の一部 (ミース・ファン・デル・ローエの未完のプロジェクト「ロー・ハウス」を原寸大で実現するための展示制作費〈観覧無料エリアに設置予定〉)
 - ・形式 : 寄付金控除型 / All in 形式
- ※All-in 形式は目標金額の達成の有無に関わらず、集まった支援金を受け取ることができる形式です。
- ・返礼品 : 5,000 円~1,000,000 円まで計 22 コース。

■返礼品概要

5,000 円~1,000,000 円まで計 22 コースをご用意。クラウドファンディングでしか手に入らないオリジナルグッズや、休館日の館内を案内するプログラムなど、充実のラインナップとなっております。

<返礼品の一例>



大判トートバッグ



リユースタンブラー
(ドリンク 10%オフつき)



ロゴ入り筆記セット



外観モチーフハンドタオル



【特別体験プログラム】
国立新美術館学芸課長が語る
「展覧会ができるまで」



【特別体験プログラム】
休館日の国立新美術館で建築探検

■「リビング・モダニティ 住まいの実験 1920s-1970s」

開催期間：2025年3月19日（水）～6月30日（月）

会場：企画展示室 1E、2E

主催：国立新美術館、東京新聞、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁

本展覧会では、20世紀にはじまった住宅をめぐる革新的な試みを、衛生、素材、窓、キッチン、調度、メディア、ランドスケープという、モダン・ハウスを特徴づける7つの観点から再考します。そして、特に力を入れてご紹介する傑作14邸を中心に、20世紀の住まいの実験を、写真や図面、スケッチ、模型、家具、テキスタイル、食器、雑誌やグラフィック、映像などを通じて多角的に検証します。今から100年ほど前、実験的な試みとしてはじまった住まいのモダニティは、人々の日常へと浸透し、今なお、かたちを変えて息づいています。本展覧会は、今日の私たちの暮らしそのものを見つめ直す機会にもなるでしょう。

■国立新美術館について

国立新美術館は、芸術を介した相互理解と共生の視点に立った新しい文化の創造に寄与することを使命に、2007年、独立行政法人国立美術館に属する5番目の施設として開館しました。以来、コレクションを持たない代わりに、人々がさまざまな芸術表現を体験し、学び、多様な価値観を認め合うことができるアートセンターとして活動しています。具体的には、国内最大級の展示スペース（14,000㎡）を生かした多彩な展覧会の開催や、美術に関する情報や資料の収集・公開・提供、さまざまな教育普及プログラムの実施に取り組んでいます。

<来館のご案内>

独立行政法人国立美術館 国立新美術館

〒106-8558 東京都港区六本木 7-22-2

<https://www.nact.jp>

開館時間：10:00～18:00

企画展会期中の毎週金・土は20:00まで（入場は閉館の30分前まで）

休館日：毎週火曜日、5月7日（水）、年末年始（ただし4月29日（火・祝）と5月6日（火・祝）は開館）

アクセス：東京メトロ千代田線乃木坂駅

青山霊園方面改札6出口（美術館直結）

東京メトロ日比谷線六本木駅4a出口から徒歩約5分

都営地下鉄大江戸線六本木駅7出口から徒歩約4分

※美術館に駐車場はございません

一般の方のお問合せ：TEL：050-5541-8660（ハローダイヤル）

■オフィシャル素材ダウンロードURL

オフィシャル素材（記者発表会オフィシャルスチール、リリース使用画像）

<https://artmuseums->

my.sharepoint.com/:f:/g/personal/pr_nact_artmuseums_onmicrosoft_com/EpbYnXBLaLdJudn-Iw6SGaQB5shbrSbUYPhMeUrMEO-WUw?e=ltbdUH



■本件に関する問い合わせ先

国立新美術館 広報室

E-mail：pr@nact.jp